

目標達成計画

作成日：平成 24年 9月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体状態の急変や事故発生時に、何の心構えもなく戸惑ってしまい適切な行動がとれない職員が居る事が問題である。全ての職員が応急手当、救命処置、119番通報と救急車の要請が出来、家族には迅速、丁寧な説明が出来る事が課題である。 ・利用者家族アンケートにても、事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面や安全面について心配な点は「全くない」と全ての家族より回答を得ている事から、それに比べられる事業所でなくてはならない事が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員が応急手当や初期対応が出来るよう必要な知識や技術を習得する。 ・傷病発生と異変への気づきにチェックを入れることの出来る職員の危機管理、感性を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①消防署の救急指導員による救急法等講習会に学び、参加者は報告をかね、実践にむけた演習を行う。 ②日常生活に潜む、外傷、溺水、窒息などに対し迅速に適切な対応が出来るよう勉強会訓練を定期的に行う。 ③初期対応や対処行動が最低限とれるよう分かりやすいフロー図を作成しておく。 	3ヶ月
2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・市担当者はホームの運営や直面している課題について一緒に考えてくれるなどし、相談しやすく身近に感じる存在である。今後は市内グループホーム間の交流会の実現などに向けて助言いただける事が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市担当者と共にグループホーム交流会を実現し各々のグループホームの抱える問題点や現場の実情を伝えるなどの話し合いが持て、新たな支援方法を見出す事ができサービスの質の向上が図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①外部評価の結果報告をすると共に市担当者と協議を行い実現に向ける。 ②近隣グループホームとの相互訪問を行い、職員同士の関係性が、密になり、スムーズな意見交換が行われ日々のケアの再確認ができ、ケアの質の確保に効果が得られるよう取り組む。 	6ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。